



右側に駅改札口がある東口2階から東西自由連絡通路を経て西口方向を望む。天井は県産材のルーバーで構成され、その間に無線調光システムにより調光が可能な一体型LEDベースライト「sBシリーズ」が配置されている

## JR東日本 東北本線 須賀川駅 東西自由連絡通路 「あかりのみち」

### まちの東西と、歴史と未来をつなぐ 新駅に直結したバリアフリー通路

奥州街道の宿場町として栄えた須賀川では、1887(明治20)年、北西部に須賀川駅が開業したものの、宿場町や須賀川城があった東地区からしかアクセスができず、線路で隔てられた駅西地区と東側の市中心部をつなぐアクセス整備が課題だった。須賀川市がJR東日本と何度も協議を重ね、通路と駅が連結する半橋上型を採用。「あかりのみち」を愛称とする東西自由連絡通路が完成した。秋田公立美術大学の小杉 栄次郎氏のデザイン監修により、木製ルーバーによる千本格子の表現や、地元の江持石を西口正面の

壁面に利用するなど、宿場町の歴史が感じられる空間が実現した。また、照明器具の種類や配置にも気を配り、通路天井は原寸大モックアップにより見え方も検討。さらに、人が交流する場としてイベントなどにも利用することから、多様なシーンの照明環境にも対応できる無線調光システムが採用された。市の担当者は「完成した東西自由連絡通路は、城下町だった重厚感を備えながら、モダンな未来も訴求する須賀川らしさのある空間になった。今後は西口・東口の駅前広場も整備することで回遊性が高まり、周辺の観光資源にも人びとが訪れることで、より賑わってほしい」と語る。



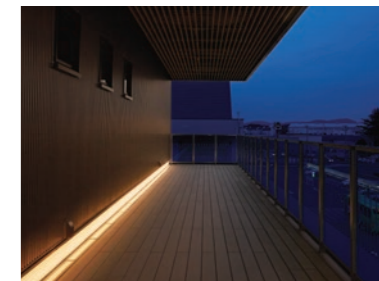
駅東口 ©東日本鉄道株式会社

### JR東日本 東北本線 須賀川駅 東西自由連絡通路 「あかりのみち」

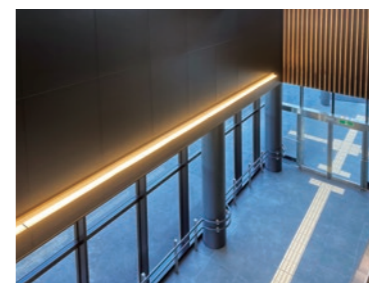
所在地／福島県須賀川市中山  
事業主／須賀川市  
設計・施工／東日本旅客鉄道株式会社  
電気工事／日本リーテック株式会社  
開業／2025年1月



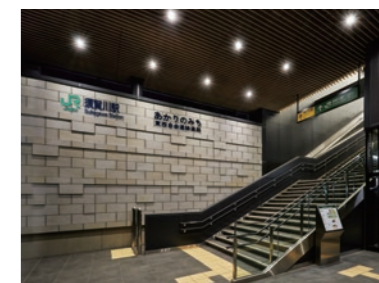
東西にエスカレーターとエレベーターが設けられバリアフリー環境を提供



地中埋込型ライン照明が配置された  
釈迦堂川花火大会などが望めるデッキ



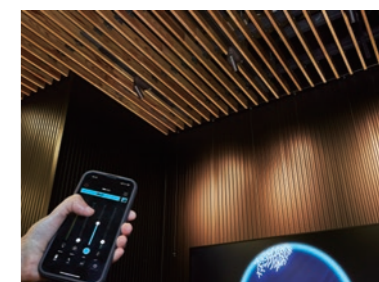
連結することにより、吹き抜け壁面を途切れなく照らしている導光ブラケット照明器具



江持石で構成された壁面を照らす  
LEDダウンライト

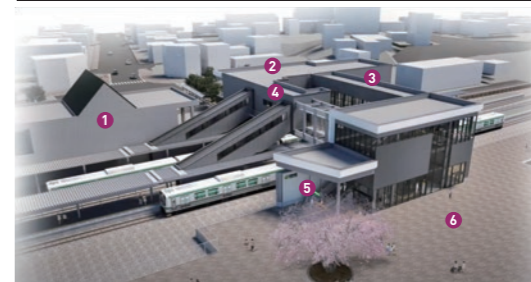


地域情報等を発信予定の86インチ大型サイネージ。シューティングスポットライトはポスター等を照らす



シューティングスポットライトはスマートフォンで照射角度や照度・色温度が変更可能

### 自由連絡通路完成予想パース



西口上空から東西自由連絡通路を望む ©東日本鉄道株式会社

- 1 市とJR東日本による合築旧駅舎(1991年開設)
- 2 駅東口
- 3 東西自由連絡通路
- 4 ホームへ続く跨線橋
- 5 駅西口
- 6 西口駅前広場

### 主な納入設備

- LEDベースライト ● LEDダウンライト ● LEDシューティングスポットライト
- LED建築化照明器具 ● 無線調光システム ● デジタルサイネージ